

重点 幡多地域アクションプラン（案）

幡 多 地 域 本 部
令和6年1月29日（月）

[重点] AP No.10 道の駅「めじかの里土佐清水」を拠点とした地域振興

「第4期AP No.39 竜串地域の観光再生構想の推進」からの分割

<幡多地域本部>

事業概要

道の駅「めじかの里土佐清水」を拠点として、地元の農林水産物・加工品の販売や地域への誘客促進の取り組みを強化することにより、安定した雇用の拡大や地場産業の発展を図る。

分野	商工業
実施主体	土佐清水市
APへの位置付け	R4.4月

第4期(R2~R5)					評価※ (達成率)
指標	出発点	R4	R5(見込)	R5(目標)	
売上高	4,716万円 (R2)	2,179万円	1億2,300万円	1億5,659万円	C (78.5%)
入込客数	6.2万人 (R2)	3.1万人	13.2万人	14.5万人	B (91.0%)

第5期(R6~R9)		
指標	出発点	R9(目標)
売上高	5,071万円 (R3)	1億7,596万円
入込数	7.2万人 (R3)	16.4万人

※R5(目標)に対するR5(見込)の達成状況 **S**:110%以上 **A**:100%以上110%未満 **B**:85%以上100%未満 **C**:70%以上85%未満 **D**:70%未満

現状と課題

○背景

・足摺海洋館「SATOUMI」のリニューアルオープン等により竜串地域への入込客数は、大幅に増加

- 【食事の場の不足
- 【周遊ツアー等の不足

⇒ 入込客の増加が、地域の振興に結びついていない

⇒ 道の駅「めじかの里土佐清水」を改修

利用者の満足度向上・滞在時間の延長を図り、地域の課題解決・産業振興を図る



○現状(R5.4月~11月)

・売上高 83,229千円(対R3同期比 248.6%)
 ・入込客数 91,244人 (対R3同期比 181.9%)

○課題

・竜串地域へのさらなる誘客促進と滞在時間の延長

第5期における取り組みの内容

各種取り組みについては、竜串地域の観光・商工関係者、区長会の代表者等で構成する「新土佐清水市地場産品販売施設連携協議会」において、連携・協議しつつ進捗を管理

拡 (1) 誘客促進の取り組みの強化

- ①直販所の品揃えの充実
- ②カフェ・食堂のメニュー開発
- ③イベント等の企画・開催
 - 道の駅が主催する誘客促進のイベント
 - 県・市が開催するイベントとの連携
 - 地域の事業者が実施するイベントとの連携
- ④他県の道の駅と連携した外商の強化
- ⑤SNS等を活用した情報発信の強化



「シーマート土佐清水」

拡 (2) 滞在時間の延長に関する取り組みの強化

- ①品揃え、メニューの充実等による満足度の向上
- ②観光拠点施設や地域事業者と連携したイベント等の企画・開催(再掲)
- ③周遊手段の検討、周遊ツアーの造成
- ④土佐清水全体の周遊促進に向けた情報発信

「サイクルロゲイニング」(市内全域の周遊イベント)

サイクルロゲイニング
 土佐清水2023
 11月25日(土) 11時~15時
 応募締め切り 10月29日(月) 15時
 定員 70名

受付・集合場所 道の駅めじかの里土佐清水 (スタート・ゴール兼用) [注] 参加費は土佐清水市三輪町(リンズ671-1) 9:00~9:30 受付(レストラン棟) 10:00~10:30 ルール説明・作戦会議 11:00~15:00 競技 16:00~17:00 結果発表・入賞者表彰

0880-83-1103

[重点] AP No.11 売り出せ西土佐プロジェクト

第4期
 APNo.19 西土佐産栗の地産外商の推進
 APNo.20 四万十牛の生産・加工・販売体制の強化
 APNo.21 売り出せ西土佐プロジェクト推進（拠点ビジネス）

<幡多地域本部>

事業概要

西土佐地域の多様な人材や事業者が連携・協働し、地域資源の有効活用や認知度向上を図る取り組みを推進することで交流人口を拡大するとともに、西土佐地域の産業振興を図る。

第4期(R2~R5)

指標	出発点	R4	R5(見込)	R5(目標)	評価※ (達成率)
売上高 ((株)西土佐ふるさと市)	1億6,400万円 (H30)	1億7,960万円	1億8,170万円	1億7,300万円	A (105.0%)
売上高 ((株)四万十牛本舗)	1億9,000万円 (H30)	2億2,034万円	2億2,440万円	2億6,800万円	C (83.7%)
売上高 ((株)しまんと美野里) (6月~5月)	1,250万円 (H30)	899万円	900万円	2,000万円	D (45.0%)
生栗の仕入量 ((株)しまんと美野里) (6月~5月)	7.8t (H30)	5.6t	6.65t	10.0t	D (66.5%)

※R5(目標)に対するR5(見込)の達成状況 **S**:110%以上 **A**:100%以上110%未満 **B**:85%以上100%未満
C:70%以上85%未満 **D**:70%未満

分野	商工業
実施主体	◎西土佐地域産業振興推進協議会 地域事業者、四万十市
APへの位置付け	H22.4月

第5期(R6~R9)

指標	出発点	R9(目標)
売上高 (道の駅よって西土佐)	2億1,608万円 (R4)	2億2,800万円
売上高 ((株)四万十牛本舗)	2億2,034万円 (R4)	2億7,900万円
生栗出荷額 (JA西土佐支所+ (株)しまんと美野里)	1,077万円 (R4)	3,600万円

現状と課題

No.21 売り出せ西土佐プロジェクト推進（拠点ビジネス）

【現状】 入込客数や売上高は好調に推移

【課題】 地域の人口（生産者）減少に伴う生産力低下の懸念
 人材育成（企画・運営等）
 情報発信の強化

No.20 四万十牛の生産・加工・販売体制の強化

【現状】 イベント等への積極的な参加や自社HPやECサイトの改修により、
 売上高が増加

【課題】 ブランド力の強化
 衛生管理の向上、組織体制の強化・人材育成

No.19 西土佐産栗の地産外商の推進

【現状】 固定客を獲得し、コロナ禍においても一定の売上を確保

【課題】 栗の収穫量の確保



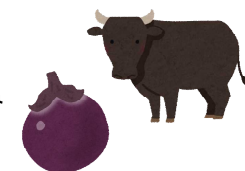
第5期における取り組みの内容

地域事業者の連携による産業振興に関する取り組みの充実・強化

（各種取り組みの進捗を「西土佐地域産業振興推進協議会」で検討・共有）

① 西土佐地域ならではの商品のブランド化・販売促進

- ① 鮎 **新** 「しまんと西土佐あゆフェス」、「四万十にしとさ利き鮎会」等の開催
 鮎漁の体験や意識調査、加工品の商品化
- ② 四万十牛 県内外の品評会等への出品、畜舎の増設、商品開発
- ③ 米ナス 「ナスフェス」、「ガブッと米ナスキャンペーン」の実施
- ④ 栗 栗産地再生に向けた取り組みの強化
- ⑤ 各種PR用リーフレット等の作成
- ⑥ 各種イベント、商談会等への出展による認知度向上・販路拡大の取り組み
- ⑦ ブランド力向上に向けた情報発信の強化



② 誘客促進・入込客増加に向けた各種イベントの企画・開催

- ① 鮎や米ナス、BBQ関連施設など西土佐地域のあらゆる資源を活用したイベント等の企画・開催
- ② 近隣市町村や道の駅と連携した周遊イベント等の開催
- ③ ツアープランの造成と受入態勢の強化
- ④ SNSの活用など、誘客促進に向けた情報発信の強化



事業概要

黒潮町の豊かな自然環境や道の駅、観光施設などを活用した体験型観光の推進、教育旅行の誘致に加えて、ワーケーションの受入れを強化することにより、交流人口の拡大を図る。

分野	観光
実施主体	◎(特非)NPO砂浜美術館 ◎(一社)黒潮町観光ネットワーク 黒潮町
APへの位置付け	H21.4月

第4期(R2~R5)

評価※
(達成率)

指標	出発点	R4	R5(見込)	R5(目標)	評価※ (達成率)
入込客数	99.3万人 (H30)	103.5万人	109.0万人	100万人	A (109.0%)
町内の延べ宿泊者数	22,538人 (H30)	22,803人	24,900人	25,369人	B (98.2%)

※R5(目標)に対するR5(見込)の達成状況 **S**:110%以上 **A**:100%以上110%未満 **B**:85%以上100%未満
C:70%以上85%未満 **D**:70%未満

第5期(R6~R9)

指標	出発点	R9(目標)
観光客入込数	103.5万人 (R4)	110万人
町内の延べ宿泊者数	22,803人 (R4)	25,800人

現状と課題

【現状】

- ・防災ツーリズムの推進
- ・スポーツツーリズムと観光需要の回復により、入込数、宿泊者数は増加傾向
⇒スポーツツーリズムの宿泊者数が過去最高(R4)となり、町内の宿泊施設や集落活動センター等への経済波及効果も拡大

・新たな観光プログラム造成に向けた取り組み(R5)

- ワーケーションモニターツアー
- ダイブスポット調査
- サーファーを対象としたアンケート



【課題】

- ・宿泊施設の確保
- ・スポーツ合宿参加者の移動の利便性向上
- ・ワーケーション受入環境の整備
- ・町公式SNS等による情報発信の強化

第5期における取り組みの内容

※ 滞在時間延長や複数の観光資源をリンクさせた観光商品の造成、PRの推進

(1) 新たな観光プログラム等の検討

- ① スポーツ合宿と観光を組み合わせた周遊プランの造成
- 新** ② スポーツ合宿参加者の移動（宿舎と施設の往復等）に関する支援策
- 新** ③ コワーキングスペースの新設
- ④ 大学と連携強化し、ゼミフィールドとして活用できる仕組みの構築
- 新** ⑤ 「学ぶ観光」をテーマにした学習プログラムの作成（ホエールウォッチング、入野松原の再生、漂流物等）
- 拡** ⑥ ワケーション・モデルプランの作成、受入れの推進
- ⑦ モニターツアー（ワーケーション、ダイブスポット）の実施



ワーケーションモニターツアーの様子
(R5：集落活動センターであいの里蜷川)

拡 (2) 情報発信の強化

- ① YouTubeの視聴データに基づく視聴者属性等の分析及び配信動画の充実
- ② 役場内に、YouTubeをはじめとする情報発信担当の地域おこし協力隊を配置（2名）